

コード	名称	区分	コード	名称			
事業名	1088 保健センター管理経費	会計	01	一般会計			
		款	04	衛生費			
		項	01	保健衛生費			
基本施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費			
		細目	246	保健センター管理経費			
行革大綱の重点事項番号		1・6		細々目	01	保健センター管理経費	
担当部課	コード	703000		担当者氏名	真井雅子	連絡先	47 - 1151
	名称	大山田支所住民福祉課					(内線) 210

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	地域保健サービスの拠点施設として、安心して暮らし続けられる。	
根拠法令・要綱等	大山田保健センター設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	①大山田保健センターの管理運営	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	
2 配置人員	0人
3 年間運営費	5,715 千円
4 市内の類似施設	いがまち保健センター等

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
開館日数		日	目標	245	目標	245
			実績	73	実績	49
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
大山田保健センター延利用者数		延利用者数を指標としました。	人	目標	2500	目標	2500
				実績	1070	実績	818
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求	
					(千円)
直接事業費計(A)	5,360	5,126	5,675	5,675	
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3	3	3	3
	一般財源	5,357	5,123	5,672	5,672
事業投入人件費(B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	
フルコスト(A)+(B)	6,080	5,846	6,395	6,395	

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
有効性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	当初設定した計画を 60%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	職員が常駐しおらず事業開催時のみの開館であるため、当初の計画よりも徐々に利用が減少している。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる	
	【詳細】 直営にて管理・運営を行った。また市主催の健康づくりや母子保健の事業を実施するとともに給食サービスや子育てサークルなどで利用してもらい住民の活動支援を行った。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	なし
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 直営にて管理・運営を行った。また市主催の健康づくりや母子保健の事業を実施するとともに給食サービスや子育てサークルなどで利用してもらい住民の活動支援を行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中村 崇
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 地区住民の健康づくりや母子保健の活動の拠点となっており、今後も継続して事業を実施していく。
現時点における課題、その他	なし
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	